

☆ ボランティアさんの一言 ☆

約46億年前、この宇宙に太陽系が誕生。金星、地球、火星など次々と惑星が生まれました。金星は地球とほぼ同じ大きさ。でも太陽に近すぎて表面温度は500度。火星は地球の重さの10分の1しかなく引力が弱くて水は宇宙空間に。一方、地球は太陽から絶妙な距離にあり、また絶妙な大きさになったため、水が固体・液体・気体の状態で同時に存在する事となりました。こうして地球は生命の星に。星空を眺めながら“母なる地球”にも思いをさせてみたいものですね。

(H・Aより)

開館時間：15：00～21：30

☆ 9月の見頃の時間は19:00ごろです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・Twitterにて ↓



Web



Facebook



Twitter



Instagram

#くらぶちこども天文台



くらぶちこども天文台

KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

〒370-3403 群馬県高崎市倉渕町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※

くらぶちこども天文台

2021★9月の星空

あき よなが ほしぞら たの きせつ まく
秋の夜長。星空を楽しむにはもってこいな季節が幕
あ やま うえ きおん すず かぜ
を開けました。山の上は気温も涼しく、さわやかな風
あつ やわ ことし あき きせつ どせい
が暑さを和らげます。しかも、今年は秋の季節に土星
もくせい のぼ とし だいさんかく あま がわ
や木星が昇る年。また、まだまだ大三角や天の川など
なつ せいざ み つづ じき よなが じかん
夏の星座も見ごろが続く時期。夜長の時間をぜひ、ご
かぞく ゆうじん とうかん たの す
家族やご友人と当館で楽しく過ごしてみませんか？



今月の星座



Stellarium 0.19.0 / <https://stellarium.org/ja/>より

誕生星座は、【**いて座**】【**やぎ座**】【**みずがめ座**】が見頃になります。
 まだまだ天の川や『**夏の大三角**』の季節です。北の空には『**北斗七星**』と【**カシオペア座**】が両方見れるお得な時期！それでも、遅い時間になっていくと夜空には秋の星座たちが、『**秋の大四辺形**』も探してみよう！

星空トピックス『望遠鏡のしくみ⑥』

宇宙の世界を近くで観せてくれる望遠鏡。4月から数回に分けて望遠鏡のしくみについて解説してきました！最後はズバリ、望遠鏡の選び方で締めくくりです！昨今様々な望遠鏡がありますが、参考の一つにしてください！
◇ まずは何を観測したいか、決めるべし！

望遠鏡選びにもっとも重要なのは何でしょうか？値段もタイプも様々な望遠鏡。彼らをお家に迎える際、折角だからいいものを買おう！と思うかもしれません。でも、いいものは扱いが難しかったり。じゃあ安いのでいいか、というと風景は良く見えるのに、見たかった星が見えづらい！なんてことも……口径、倍率、架台、三脚、導入装置、パーツがありすぎてどうしていいかわからない！となりますよね。そんな時はぜひ、『その望遠鏡で何を観測したいか』を決めてみましょう。

● あなたに合う望遠鏡は？！

明るく大きな天体なので、小さな口径の望遠鏡や双眼鏡でもきれいに観測できます。

| | |
|---------------|--|
| 月の全体をはっきり見たい！ | 70倍未満の低倍率 |
| 月のクレーターが見たい！ | 望遠鏡には“適正倍率(口径mm×2)”があり、口径によって綺麗に見える倍率が決まっている |
| 土星の環が見たい！ | |
| 木星の縞模様が見たい！ | 大体70倍以上で見えてくる |
| 火星が見たい！ | 70倍以上が出せる口径は？ |
| | 最低でも4cm以上の口径を持った望遠鏡が必要 |

口径が大きくなるほど明るくはっきり見え、もっと高倍率にして拡大することができる
 星団や星雲、銀河は淡い天体のため高倍率(像が暗くなる特徴がある)では適しません。なので、20~30、50倍以下の低倍率での観測が適しています。また、大口径であればあるほど天体の光を集める力(集光力)があるので、明るくはっきり見えてきます。できれば8cm以上の口径が欲しいところです。

星団・星雲・銀河が見たい！